



第4回「甘楽町民の日」記念事業・東京都北区交流事業

立	体
画	家

芳賀一洋展

HAGA ICHIYOH

郷愁を誘う立体絵画、額縁内に広がる1940年代のパリの街角や昭和初期の日本の情景。

2012年1月28日(土) ▶ 2月5日(日)

AM 9:00 ▶ PM 5:00 初日1月28日は午前10時30分オープン

甘楽町文化会館 展示ホール **入場無料**

群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉 1322-1 Tel.0274-74-7000

主催／群馬県甘楽町 後援／東京都北区

お問い合わせ先 群馬県甘楽郡甘楽町大字小幡 161-1
 TEL●0274-74-3131 FAX●0274-74-5813
 甘楽町企画課 URL●http://www.town.kanra.gunma.jp

「甘楽町民の日」記念事業特別講演

テーマ **生きる** —現代に生かす 戦国武将の知恵—

1月28日(土) 午後2時 甘楽町文化会館

講師●松平 定知 [まつだいら さだとも]

元NHKアナウンサー／京都造形芸術大学教授／早稲田大学大学院・国学院大学客員教授



郷愁を誘う立体絵画

パリや日本の古き良き情景を立体クラフトで表現している芳賀一洋による『立体画家 芳賀一洋展』を2012年1月28日(土)より2月5日(日)まで、甘楽町文化会館で開催します。

すべての作品は芳賀のイメージから創造されたものであり、ただ単に実物を模倣するだけの模型とは一線を画します。作品に込められたストーリーが見るものに生活感や空気感を伝えます。今回の展覧会でも、来場者の心を強く引き付けることでしょう。

- 1940年代のパリの街角“アートイン・ボックス”(1/12スケール) 約30点
- 昭和初期のノスタルジックな日本の原風景(1/80スケール) 約10点

芳賀一洋 プロフィール

立体画家。1948年東京生まれ。洋品店経営のかたわら手元にあった値札やマッチの棒で小さな建物を作ったことがきっかけで作品づくりに目覚め、1996年から本格的に作家活動をはじめ。以後渋谷バルコ、新宿伊勢丹、銀座伊東屋などで個展を開催するほか、国内外の各種イベントへ出展している。



日本軽石興業株式会社



9600型蒸気機関車



展示イメージ

第4回「甘楽町民の日」記念事業・東京都北区交流事業

立 体
画 家

芳賀一洋展

HAGA
ICHIYOH

甘楽町文化会館

群馬県甘楽郡甘楽町大字白倉1322-1 Tel.0274-74-7000 Fax.0274-74-7001

- 上信越自動車道吉井I.C.または富岡I.C.より10分
- 上信電鉄上州福島駅から3km(タクシーで5分)

